

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成29年1月12日

協議会名: 新発田市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
新潟交通観光バス(株)	あやめバス 申請番号(1)～(7)	<ul style="list-style-type: none"> ・意向調査からは「路線情報をわかりやすくする」「運行状況の発信を充実する」等の改善要望があった。 ・鉄道やコミュニティバスとの乗継ぎに配慮したダイヤ設定、イベントでの車両展示や沿線施設への時刻表配布等を行った。 	A 計画通り事業は適切に実施された。	<p>＜実績(目標値)＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ①年間利用者数8.0万人(9.2万人以上) ②年間収支率26.1%(30%以上) <p>＜事業実施による効果＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の公共交通空白地域の改善 ・自動車の運転できない高齢者、学生などの交通弱者の移動手段の確保 ・中心市街地の活性化 ・車椅子対応の低床車両、位置情報提供システムの導入による利用環境の改善 <p>＜達成状況の分析＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿線外で住宅地や商業施設の開発が進むなど、移動ニーズの分散等により、日中の利用(買物、通院等)が伸び悩んだ。 ・中心市街地における各公共施設、商業施設、医療機関等への移動手段として、交通弱者をはじめとした市民に定着しており、事業効果は表れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスロケーションシステム(「バスどこ」)の充実やPR活動の継続など、情報発信を中心に利用者数の確保を図る。 ・現状の利用状況に応じ、より適切な目標設定について検討する。
新潟交通観光バス(株)	川東コミュニティバス 申請番号(8)～(18)	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り方教室の実施や停留所別時刻表の配布、中学校卒業生への回数利用券贈呈等を行った。 	A 計画通り事業は適切に実施された。	<p>＜実績(目標値)＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ①年間利用者数4.8万人(3.3万人以上) ②年間収支率9.1%(12.5%以上) <p>＜事業実施による効果＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合併町村を含む各地区から市街地の各施設への移動利便性向上 ・自動車の運転できない高齢者、学生などの交通弱者の移動手段の確保 ・中心市街地の活性化 ・車椅子対応の低床車両、位置情報提供システムの導入による利用環境の改善 <p>＜達成状況の分析＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生の通学など、新発田駅方面へ向かう朝の便の利用者が増加した。 ・特別支援学校への通学利用者(手帳提示により無料)が多いため、収支率は目標を下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通学利用者を確保するため、通学に配慮した運行内容の検討を継続する。 ・買物、通院利用者の確保に向け、住民向けの利用促進(時刻表配布、乗り方教室等)を継続する。